



栗原 福裕 議員

行政区の運営

Q

今後の行政区のあり方について町の考えを伺う

A

地域の特性に応じた支援を図る

栗原 今後の行政区のあり方について町の考えを伺う。

町長 行政区の大小にかかわらず、地域の特性に応じた地域への支援、地域活動の推進を図る。小規模行政区に対しては、隣接する行政区との協力体制の構築を模索し、行政区の統合の可能性も含め、地域と一緒に研究の場を設けたい。

栗原 町として行政区への未加入対策はどのようにしているか
町長 5年度に加入促進のパンフレットを作成し、6年度から転入者や加入されていない世帯へ

パンフレットを配布し、加入促進を図る。

栗原 小規模行政区における役員のなり手不足等で、行政区運営に支障等をきたす恐れ等があると考えるが、町はどう対応されるのか。

町長 世帯数の少ない行政区や高齢化が進んでいる行政区については、役員になる人材自体が不足している。最善の策はないが、行政区の意見を聞き対応したい。

栗原 現在限界集落に該当する行政区、また10年後に限界集落になる恐れがある行政区数を示してもらいたい。

町長 現在校区別に見ると上広川校区で2行政区ある。また、行政区に加入してある世帯だけで見ると、上広川校区で6行政区、中広川校区で3行政区が当てはまると推測される。また、

今後10年以内に限界集落に該当する恐れがある行政区は、上広川校区で7行政区、中広川校区で5行政区が推測される。

栗原 行政区の今後のあり方や運営については、町が積極的に関わってもらいたい。

栗原 行政区運営交付金の交付基準等の見直しについて伺う。

区役員委任料

Q

区役員委任料の見直しについて伺う

A

区長会とも協議し、適切な見直しを行う

栗原 区役員委任料の見直しについて伺う。

町長 区長の今後の委任料のあり方については、委任業務の内容を精査し、区長会とも十分に協議を重ね、適切な見直しに向けて丁寧に進めていきたい。

教育長 分館長会の中からも見直し検討すべきとの意見をいただいている。多い行政区と少ない行政区では、年間約63万円の開きが出ている。引き続き、分館長会と十分に協議を進めて行

町長 行政区運営交付金交付基準の見直しを行う際には、行政区間で著しい差が生じないよう、整理・研究を行う。

栗原 財政基盤の弱い小規模行政区に対して特別交付金等の支援は考えられないか。

町長 世帯割の配分方法等の整理研究を進めたい。

きたい。

栗原 小規模行政区において、役員のなり手不足等が課題となっているが、委任料も含め今後どのような対策をとられるのか。

町長 委任料等については、区長などと協議しながら、町が委任している部分等を整理しながら金額等を設定して行きたい。



行政区の救命救急体験